

予防

14. 職員のインフルエンザワクチン予防接種率

算式

$$\frac{\text{【分子】 職員の自院でのインフルエンザワクチン予防接種者数}}{\text{【分母】 職員数（11月1日現在）}}$$

※分母除外項目

1. 院外でのインフルエンザ予防接種者
2. 予防接種ができない者

定義

職員に実施したインフルエンザワクチン予防接種割合

指標の解説

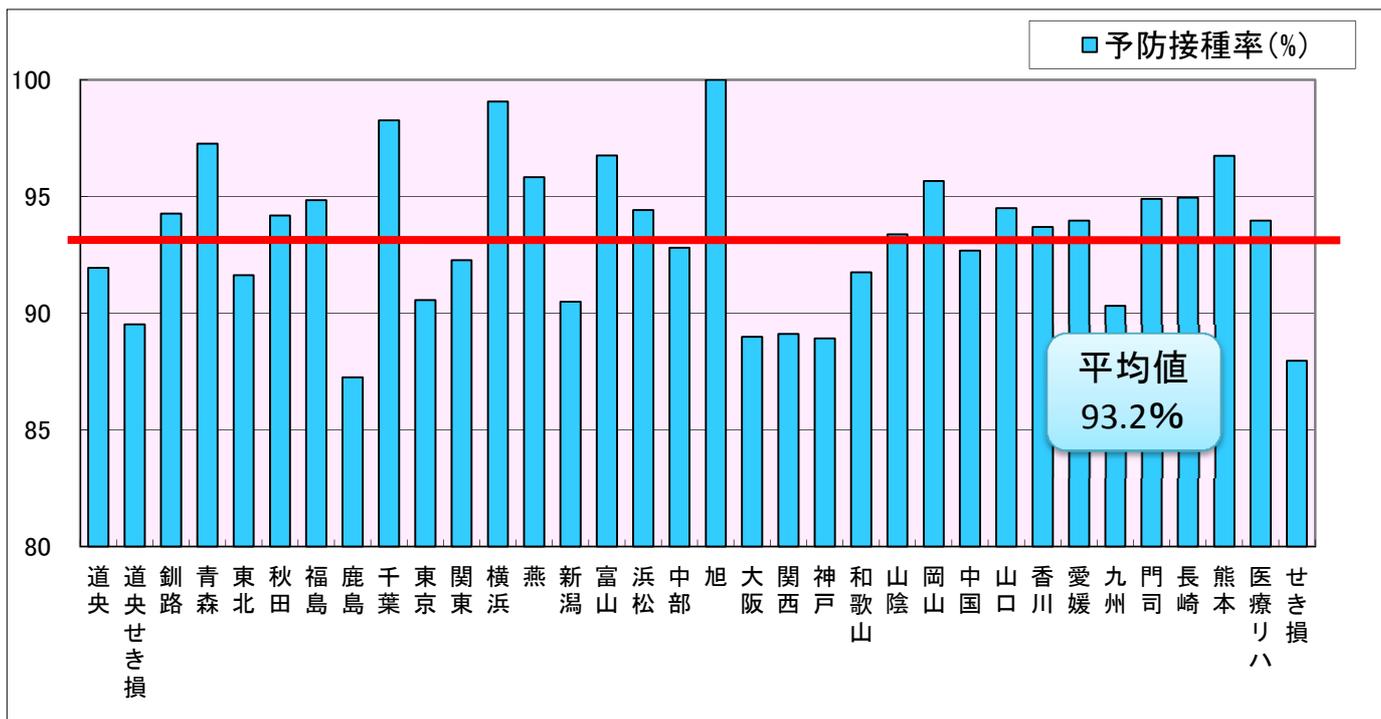
施設調査より抽出

安全で質の高い医療の提供に関して、院内感染防止対策への取組について職員へのインフルエンザワクチンの接種状況から評価する。

職員のインフルエンザワクチンの接種率は、患者の安全に関わる問題である。医療機関を受診する患者は、免疫力が低下していることが多く、病院職員からの患者及び職員間の感染を防止する必要がある。

接種率が高い場合には、院内感染防止対策に積極的に取り組んでいると評価できる。

14. 職員のインフルエンザワクチン予防接種率



施設名	分母	分子	予防疫種率(%)	
道央	335	308	91.9	
道央せき	229	205	89.5	
道央せき損	229	205	89.5	
道釧路	541	510	94.3	
青森	438	426	97.3	
東北	752	689	91.6	
秋田	258	243	94.2	
福島	465	441	94.8	
鹿島	298	260	87.2	
千葉	576	566	98.3	
東京	551	499	90.6	
関東	995	918	92.3	
横濱	1,074	1,064	99.1	
燕	335	321	95.8	
新潟	473	428	90.5	
富山	339	328	96.8	
浜松	412	389	94.4	
中部	819	760	92.8	
旭	353	353	100.0	
大阪	1,135	1,010	89.0	
関西	1,047	933	89.1	
神戸	460	409	88.9	
和歌	509	467	91.7	
山陰	513	479	93.4	
岡山	529	506	95.7	
中国	656	608	92.7	
山口	436	412	94.5	
香川	697	653	93.7	
愛媛	331	311	94.0	
九州	722	652	90.3	
門司	274	260	94.9	
長崎	613	582	94.9	
熊本	582	563	96.7	
医療り	149	140	94.0	
せき損	191	168	88.0	
合計	18,087	16,861	93.2	
平均	500床以上	970	896	92.3
	400床以上	605	566	93.7
	300床以上	468	439	93.8
	200床以上	303	285	94.3
	200床未満	190	171	90.2